



飯嶋 正利 議員



住みよい住環境の確保について

問 秋田川の護岸工事について、仁玉川の護岸も崩れているが進捗の違いはあるのか。

答 秋田川は令和2年度に県が機能診断の実施と機能保全計画の策定を行った。今後は、令和6年度中の事業化を目指し、法手続きを進める予定。仁玉川は令和3年度に機能診断の実施と機能保全計画の策定を行い、県営事業の申請に向け準備を行っている。このことから、順番通りに両事業とも順調に進んでいる。

問 仁玉川の改修工事について、1期工事の際に当時の市長に本当に農業予算でいいのかという提言を行ったが、2期工事についても農業予算でいいのか。

答 昭和46年から51年に国営の県営かんがい排水事業が行われた。そういった流れもあり1期工事を始めるときに仁玉川は一つなので、1期、2期と分かれているが、全河川については農業予

算で整備すると方針がついた。

駅周辺の整備について

問 旧市民会館跡地の活用方法について、県等とどのような協議が行われたのか。

答 旧市民会館の土地は県と貸付契約を締結し、借用していた。契約では「旭市民会館のために使用するものとする」とされ「建物を解体して新たに建物を建築してはならない」とする条項もあり、本年3月をもって返還した。

問 建物はもう建てないということ、これに対して県とのやり取りは何もなかったのか。

答 県から市への跡地活用についての打診はなかった。

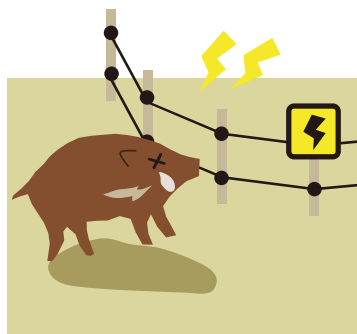
問 旭駅前の整備について、駅舎や駅前駐車場等の整備を今後するつもりはあるのか。

答 JRに今後の駅舎整備について伺ったところ、現時点では利便性を向上させるような整備予定はないとのこと。駅前駐車場については、ロータリーが朝夕送迎時に混雑する状況であることは把握しているが、送迎車のため一時駐車場の整備計画はない。路面表示が薄くなっていることも混雑の要因と考え、薄くなった部分の補修を検討していく。

有害鳥獣対策について

問 イノシシの出没が増えているが農業被害の状況と補助金(資材費の50%助成、上限10万円)を使つての電気柵設置状況は。

答 市が把握しているイノシシによる農業被害額は直近3年間で約200万円。電気柵設置状況は海上地区2か所、飯岡地区38か所、干潟地区1か所。柵延長は全体で14km。



問 イノシシの駆除は行っているか。またその数は。

答 駆除業務は銚海猟友会に委託している。駆除実績は直近3年間で28頭。



永井 孝佳 議員



問 猟友会の担い手不足に対する取り組みはあるか。

答 わな猟免許の新規取得に要する初心者狩猟講習会受講料や狩猟免許試験の申請費用に対する補助がある。

学校再編について

問 現在検討されている基本方針以外の選択肢はどの段階まで存在するのか。最終的にどこで決定するか。

答 代表者会議で決定する。仮にその中で基本方針と異なる結論となった場合には、あらためて再編内容の再検討を行う。

問 HPで公開されている、会議資料や会議録の学校名、地域名が伏せられている理由は。

答 検討段階で資料を全て公開すると、議論を進めていくうえで、円滑な議事運営に影響がでると考え一部資料を非公開としている。また、会議録を確認すると検討段階の資料が策定委員会で決定したものとして独り歩きしてしまうことや委員が嫌がらせを受けるといった事を危惧する記述もあり、そういったことを踏まえ、一部非公開とした。

その他の質問事項

○ふるさと納税について